

普通裁縫教授書

渡邊辰五郎編輯

中卷



Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

版 權 所 有

千葉縣女子師範學校  
教員 堀 均 一 關

普 通 裁 縫 教 授 書

東京女子師範學校裁縫科  
教員 渡邊辰五郎 編輯

中 卷

東京書肆 石川氏藏梓

普通裁縫教授書

第三期

一ツ身裁方

第三圖小據り一ツ身普通裁方を教ゆ但し假尺假布の  
用方を第二期教授法を参照せよ







の出来あり

常巾九尺八寸を以て一ツ身を裁つ時ハ其寸尺如何ん

(二) 丈二尺袖丈一尺二寸裁切り袖巾を布ニツ割其残三

尺四寸を衿、衿、附紐等ツケヒモを切るあり

八尺を以て一ツ身の裁方の如何を為るや

(三) 丈一尺九寸袖丈一尺五分袖巾六寸裁切り衿丈三尺

一寸但し山をぎよく衿を鈎裁カクあり

一丈を以て一ツ身を裁つハ如何ある寸法なるや

(四) 丈二尺一寸袖丈一尺四寸五分袖巾五寸五分衿巾一

寸三分衿丈三尺六寸衿丈二尺衿巾四寸を裁切るあり

甲

七尺五寸の布を以て一ツ身を裁を製せんと為る時を如何

に裁切りて可あるや

(五) 丈二尺袖丈八寸七分五厘衿丈一尺八寸衿巾二寸七

分衿丈三尺五寸衿巾一寸五分紐の長一尺七寸を裁

切りて可あり

一丈一尺を以て一ツ身を製する時ハ其寸尺如何ん

(六) 丈二尺五寸袖丈一尺五寸袖巾五寸五分衿丈四尺巾

一寸三分衿丈二尺四寸巾四寸裾下一尺を裁切るあり

り

八寸五分巾一丈三尺三寸を以て一ツ身裁縫の寸法ハ如何にして宜しきや

(七) 丈二尺五寸袖丈一尺五寸袖巾六寸衿巾二寸五分衿丈四尺三寸衿丈二尺三寸巾三寸紐巾二寸づゝ裁切り身巾はつむい袖巾五寸五分袖附五寸身のハッ口二寸五分裾下五寸衿下三寸衿巾一寸但し模様物あるは袖口明五寸袖形丸縫上くるあり

一尺三寸巾八尺を以て一ツ身の裁方を陳へよ  
(八) 丈二尺五寸袖丈一尺五寸衿丈四尺三寸衿巾二寸衿の長二尺四寸衿巾三寸裾下八寸裁切るあり

一尺一寸巾長一丈五寸を以て一ツ身を裁つゝハ如何なる寸法ありや

(カ) 丈二尺三寸五分袖丈一尺四寸五分衿丈四尺衿巾二寸衿丈二尺三寸衿巾三寸附紐巾二寸裁つゝあり  
二尺巾の品めて一ツ身を裁切るハ如何ある寸尺にて適むるや

(十) 丈二尺二寸袖丈一尺四寸巾五寸五分衿丈四尺巾二寸衿肩一寸衿丈二尺衿巾三寸裁切あり但し用布の丈巾も二尺巾の處四尺四寸五分巾の處一尺二寸を要するなり

單衣の縫方

第一袖の表より左右の端凡五六分も残り淺く縫ひ引返して袖附の方より袖口迄縫ひ口明を新折目を付け又引返して表を出し正しく為し袖巾を度り折を付け而して衽を取り裾下を新けべし第二小衽肩を己の右とし肩當の長き所を身頃の向へ當て身頃と共に脊縫を為し袖附より一寸下りし所を腎當を身頃と共に縫ふあり最も揚有きバ揚の中へ腎當を入せば脊縫終むむ己の方へ折目を付け後巾を度り又肩巾を度り折目を付け若し揚有るをのまきバ之をあり腎當を新付けべ

第三小脇縫を為し袖を付け肩當を新付りあり第四小前巾抱の中を當り折目を付け左右の衽を付け折ハ衽の方へ返をべし第五小衽の縫目を正しくし劍先の止より裾下の標迄小定規を措くり或ハ糸を引き篋を以て線を畫し脊縫の所より左右小衽を付下し然して巾を度り之を新付けべし但し女服をきバ揚を為さば腎當を裾より凡二尺程上より付下をべし凡て縫物ハ糸を多く縫溜ると宜しうらば凡一尺も縫へる糸を引き布の縮まぬ様小伸し扱ふを肝要とす

○問答此部

問答ハ前小記載せる縫方を量り適宜小為とべし爰ハ略也

祥纏シラシラの縫方

次の問答を斟酌して宜しく教授をべし

○問答の部

祥纏と如何ある順序を以て仕立て可きヤ

先づ表の袖を縫ひ躰糸シラシラを懸け袖巾を度り裏の袖口を懸け袖下シラシラを縫ひ表の衿肩戔右とあして脊を縫ひ後巾を當り亦肩巾を當り折を付け次小脇を縫ひ袖を付け次小前巾を度り脊より左右へ衿を付下し而

して表小準ひ裏を縫ひ裾を合せ然後綿を入れるあり

然らむ其紵方如何ん

第一小袖口を紵け次小衿を紵け然して布綴ヌトヤを為ひなり

一ツ身單衣、衿、綿入、縫方

教方ハ是も亦略とせば次の問答を参考して授くべきあり

○問答此部

一ツ身の單衣ヒトヘモを仕立る順序を如何ん



第一表の袖に裏を見て袖口に切<sup>キ</sup>を向<sup>キ</sup>袖を己の方へ持ち袖口を少引つり袖をたるくして縫ひ其次小袖下を縫ひ口先へ躰糸を懸け袖口を断付け又袖中を度りハツ口を断け其次裾下を断るるなり

夫より何を為さや  
夫より後中を度り脇縫を為し袖を付るるなり  
其次

前中抱の中を當り又其中間を度り左右の衽を付るなり但し縫込<sup>フセ</sup>を伏縫<sup>フセ</sup>にせ  
然後ハ何を縫ふや

釵先の止より裾下の標迄定規を措くり或ハ糸を引き篋を以て線を畫し衽を付け又表衽へ裏衽を縫付け衽中を度り衽先を縫ひ衽を断付るるなり  
尚何を為さ可きや

裾を三ツ折と為し断付け而して縫目或ハ縹<sup>シロ</sup>等を注意して疊<sup>タミ</sup>付又壓<sup>オシ</sup>を置くるなり

一ツ身衿の縫方如何ん

最初小袖口を懸け表と裏の口先を共み合せ又口明を止め袖中を度りハツ口を縫ひ袖下を縫ひ躰糸を懸るるなり

第二を何を為せや

表の後巾及肩巾を度り脇縫をあり又裏の後巾及肩巾を度り脇を縫ひ表と裏の裾を合フキせ疵の位を見て横綴をあり又裏表の間ふて縫目を綴ち袖を付るあり

第三を如何ん

前身頃の表裏を共ハ綴ち巾を度り又左右の裾を拵へ衽を付け裾下と縫ひ引返して裏表の剣先を共ハ綴付るあり

第四を如何ハ為せべきなり

單衣の如く衽を付け巾を度り衽先を縫ひ断付るあり

然らば一ツ身綿入を縫ふも如何ある順序あるや

表袖を縫ひ躰糸を掛け袖巾を度り又裏の袖口を掛け袖下を縫ひ袖巾を度る但し袖口の所を表より袖巾を六七分廣くするあり

然後を如何ハするや

後巾を度り脇を縫ひ前巾を度り抱を當り衽を付け單衣の如く衽を付け又袖を付るあり

其次ハ何を為せり

表を準ひ裏を縫ひ裾を合ひ但し裾を縫ふは裏の方  
を己の前を表を己に向ふるして縫ひ裾の所を綴ぢ  
四裾と裾下へ躰糸を掛るあり

夫よりい

縫目を正し夜着疊ヨギおろし衿肩より互に順次お疊  
又引返して後の方を見裏を疊き措き表を引伸し裾  
口より二三寸長くして綿を措き裾綿をくるくし衿の  
位を見て裏表の縫目の揃ふ様お表の方へ裏を順次  
お引伸し又裏の前へ綿を措き袖口へ綿を入き然後  
前の方より袂ドモトへ手を入き袖口と袂を共お持ち手早

く引返して惣方引合をせよ

其紵方ハ如何ハ為セヤ

先づ三ツ衿へ待鍼マチバネを刺し惣方引合せ袖口へ綿を縫  
付け衿を極めて紵け其次お横綴を為し衿に縫目を  
綴ぢ巾を當り裾下を紵け而して衿の縫目を綴ぢ巾  
を當り衿先を縫ひ又紵るあり

袷長襦袢并ハ袷半襦袢の縫方

袷長襦袢の縫方ハ表の丈より裏の丈を三四分長くし  
前下七八分お付け袖丈裏表を揃へ夫より口先を縫ひ  
袖巾を度り次お裏の裾廻スジマヅミを胴裏ドウウラへ縫付け表裏を共

脊縫をあり裾廻の所より下を別子縫ひ後巾を度り肩  
 巾を度る次子身のハッ口を縫ひ袖を身頃と共小付け  
 ハッ口を縫ひ又袖下を一枚別子縫ひして縫ひ次子脇縫を  
 あり裾口ハ別子縫ひ疵の位を見て裾を合七躰糸を懸  
 け横綴をあり又布綴をまべし次子前端を裏表共小綴  
 ち前巾を度り衿を付け巾を度り衿先を縫ひ又紵付け  
 べし然して左の方を一寸長く半衿を懸けべし  
 袷半襦袢の縫方も裏表の袖口を合せ巾を度り裏表此  
 裾口を合せ袖附を度り又馬衆を度り脊を縫ひ後巾肩  
 巾を度り袖を身頃と共小四ツ縫ひ為す但し裏袖の前

の方を五寸許縫残し袖下を縫ひ引返して紵付るあり  
 而して馬衆并小脇を縫ひ前巾を度り衿を付け半衿ハ  
 長襦袢の通小付けべし

○問答の部

問答を前記せる縫方ハ照準して適宜小之を為さべし

○第四期

三ツ身四ツ身及前衿裁此裁方

左小掲ぐる第四圖を以て之を教授し

第 四 圖

壹 第

六四五	前	四七五	後	五五六	七七八
袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分

二 第

四四五	後	五五五	前	四四五	八三三
袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分

三 第

六四五	前	四七五	後	五五六	七七八
袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分

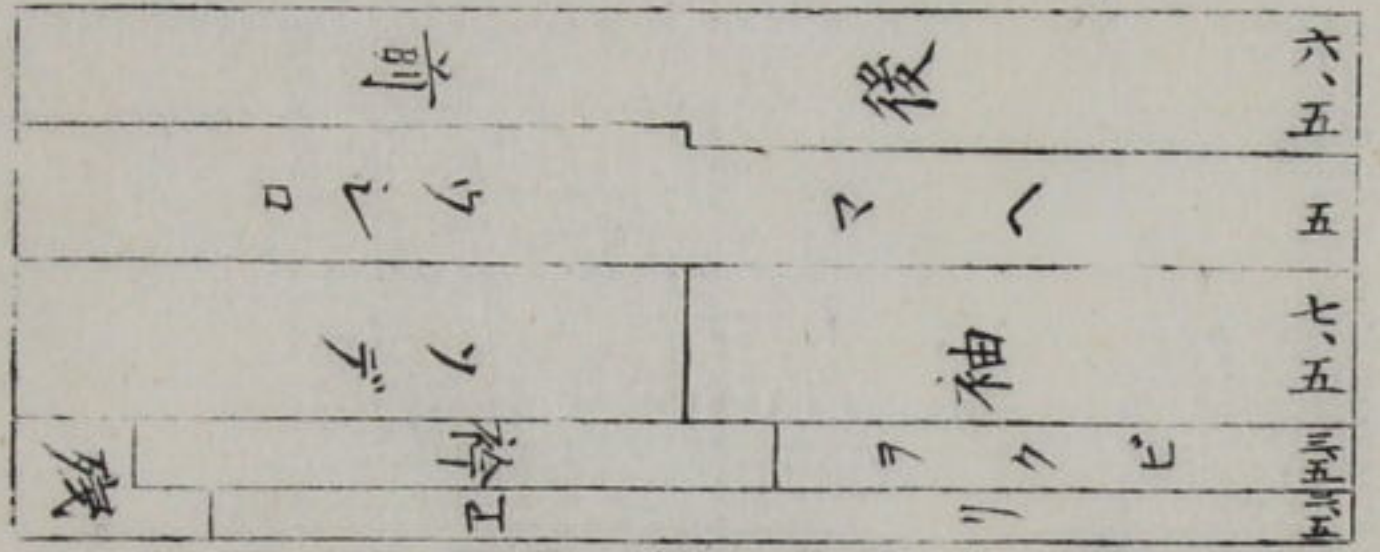
四 第

五二	後	六九	前	五二	九
袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分	袖巾三寸五分

Text descriptions for diagrams 1-4:

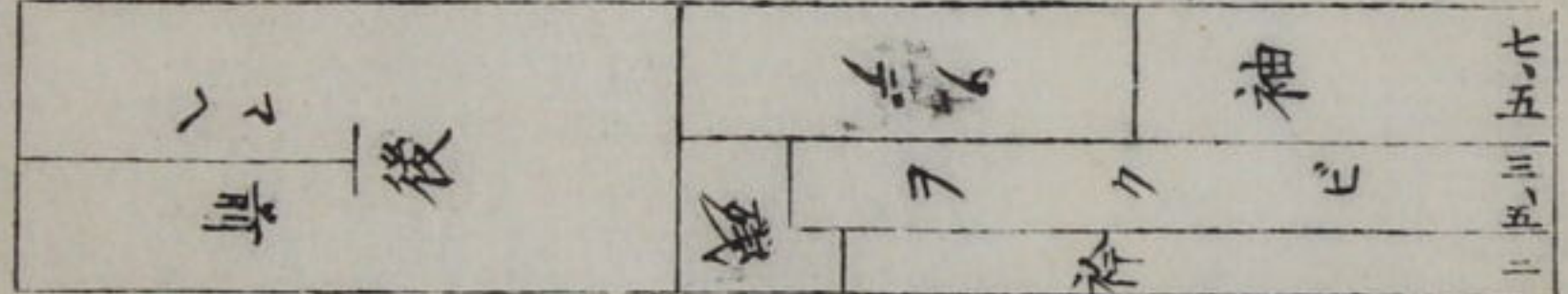
- 壹: 常中一丈四尺ヲ以テ三身裁方 袖丈四尺七寸 袖巾一寸七分 袖丈一尺四寸 丈二尺八寸 袖肩一寸七分
- 二: 一尺巾丈三寸ヲ以テ片面物送リ三身裁方 袖丈四尺六寸 袖巾一寸七分 袖丈一尺二寸五分 丈二尺六寸六分 前巾一寸五分 後巾一寸八分
- 三: 一丈二尺ヲ以テ三身裁方 袖丈一尺二寸 袖巾一寸七分 袖丈四尺 丈二尺四寸 袖肩一寸七分
- 四: 片面一尺寸巾丈五寸ヲ以テ送リ三身裁方 袖丈一尺五寸 袖丈五尺二寸 袖巾三寸 丈三尺 袖肩一寸八分

第 五

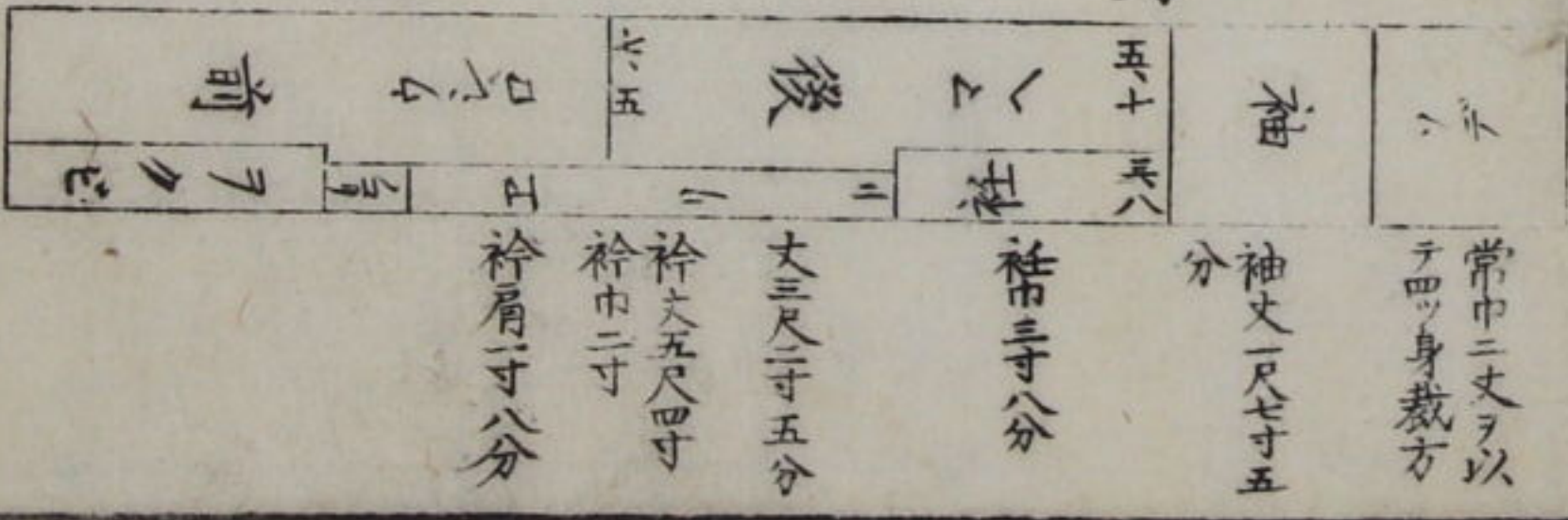


二尺五寸巾身裁方ヲ以テ三身裁方 袖丈一尺五寸 丈三尺 袖丈五尺二寸 袖巾二寸五分 袖肩一寸七分 袖丈二尺八寸 袖巾三寸五分

第 六

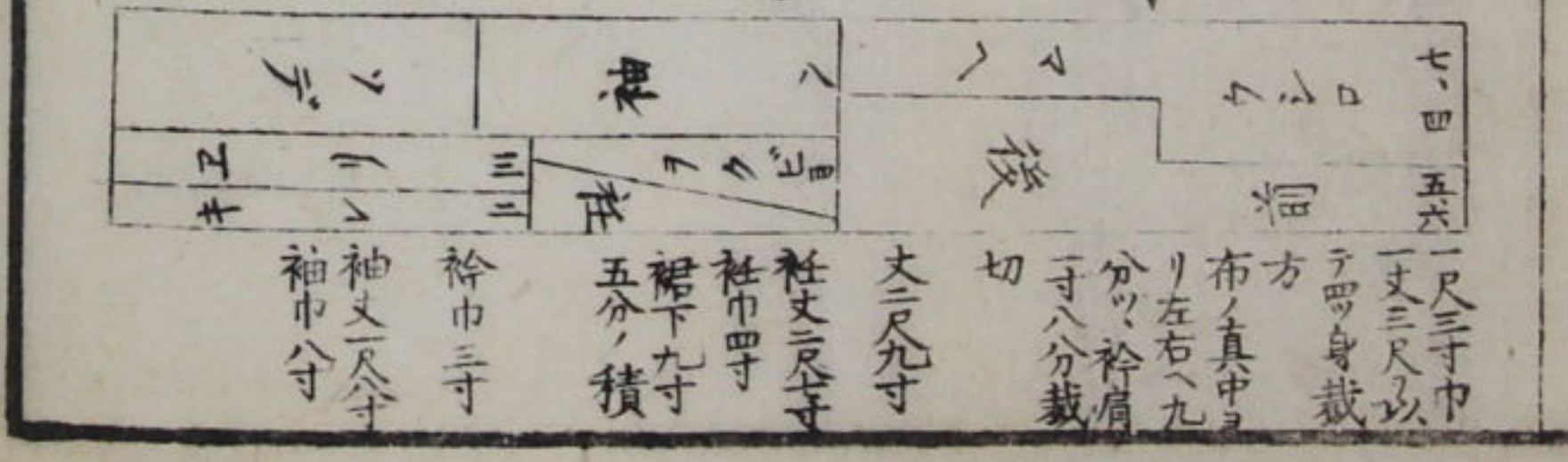
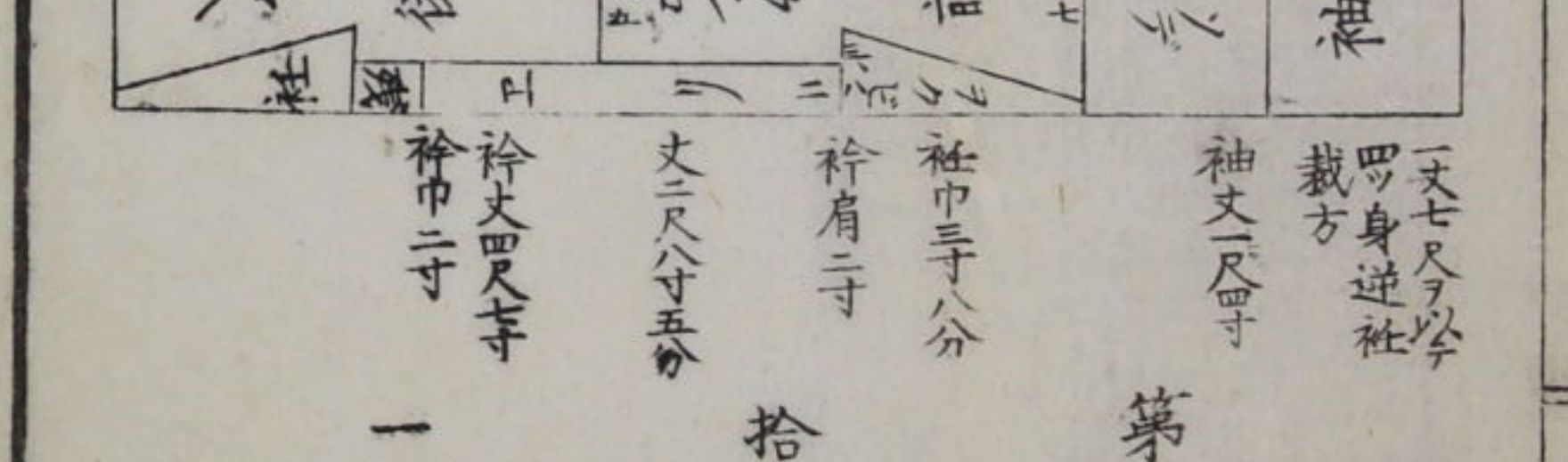
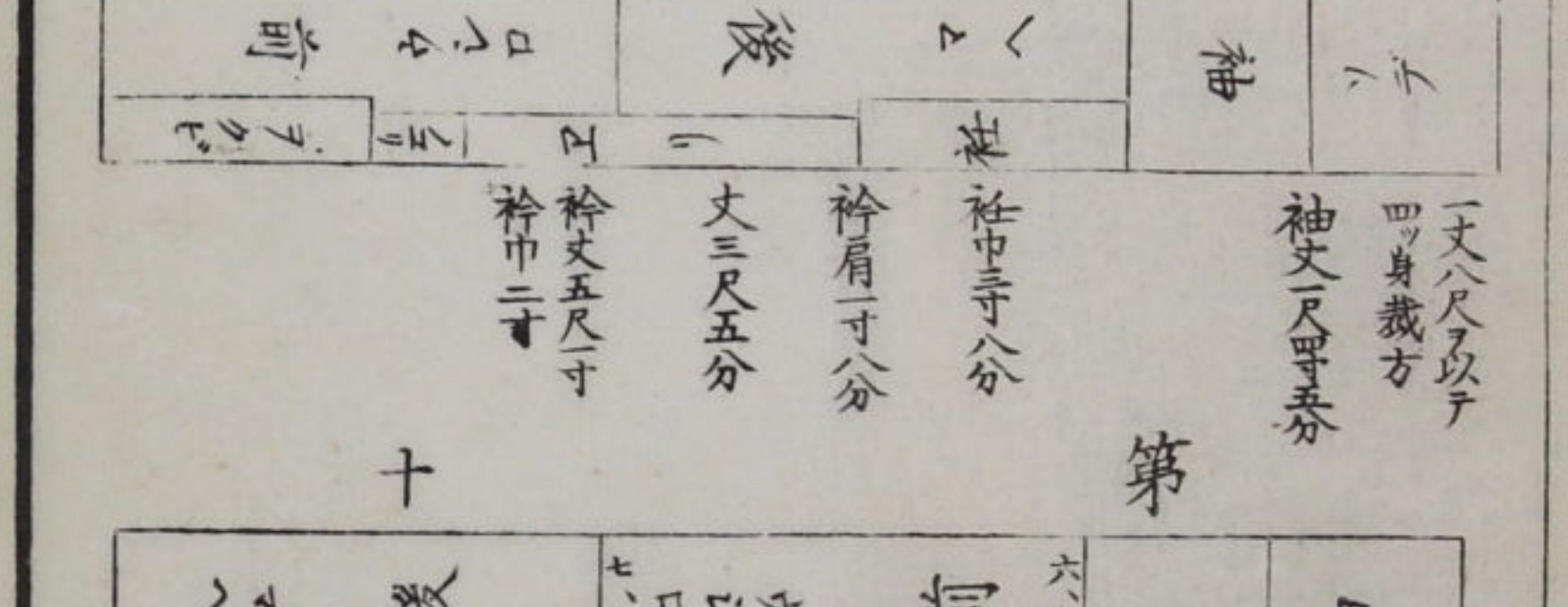
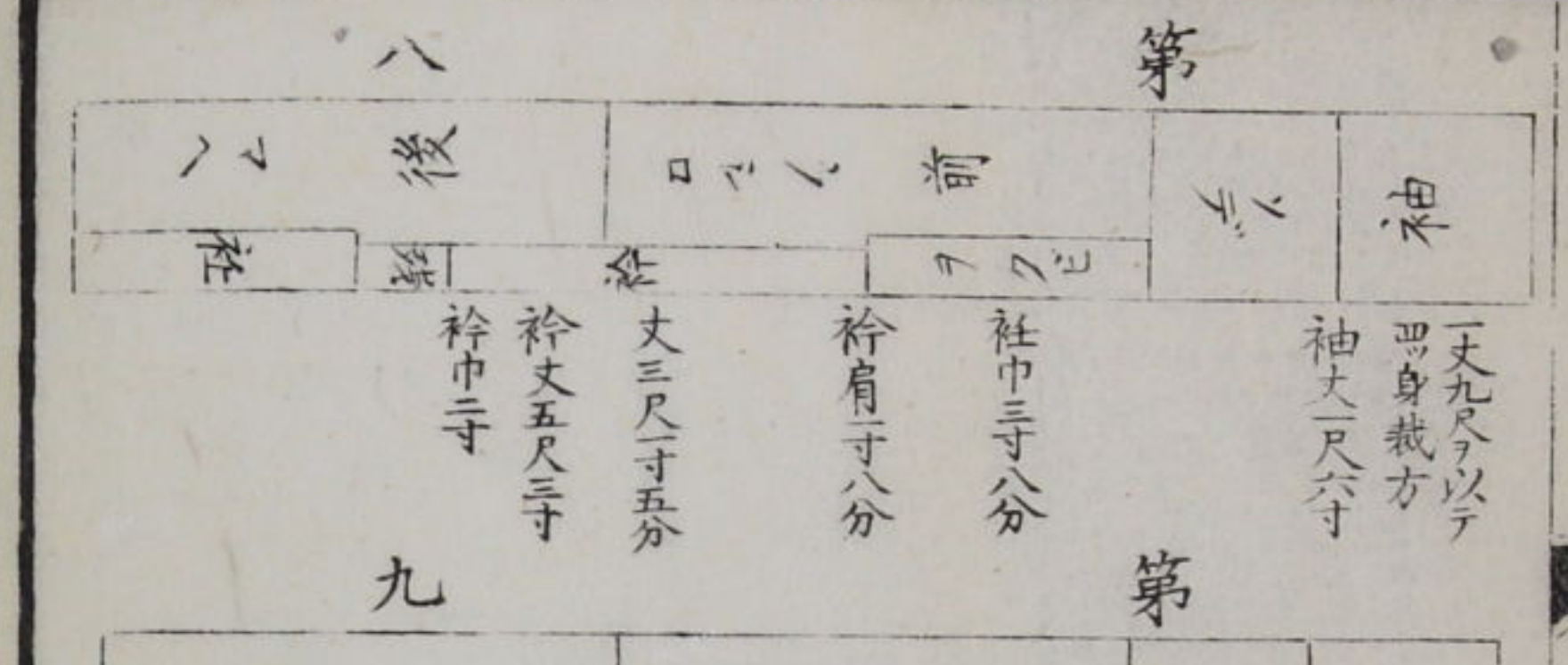
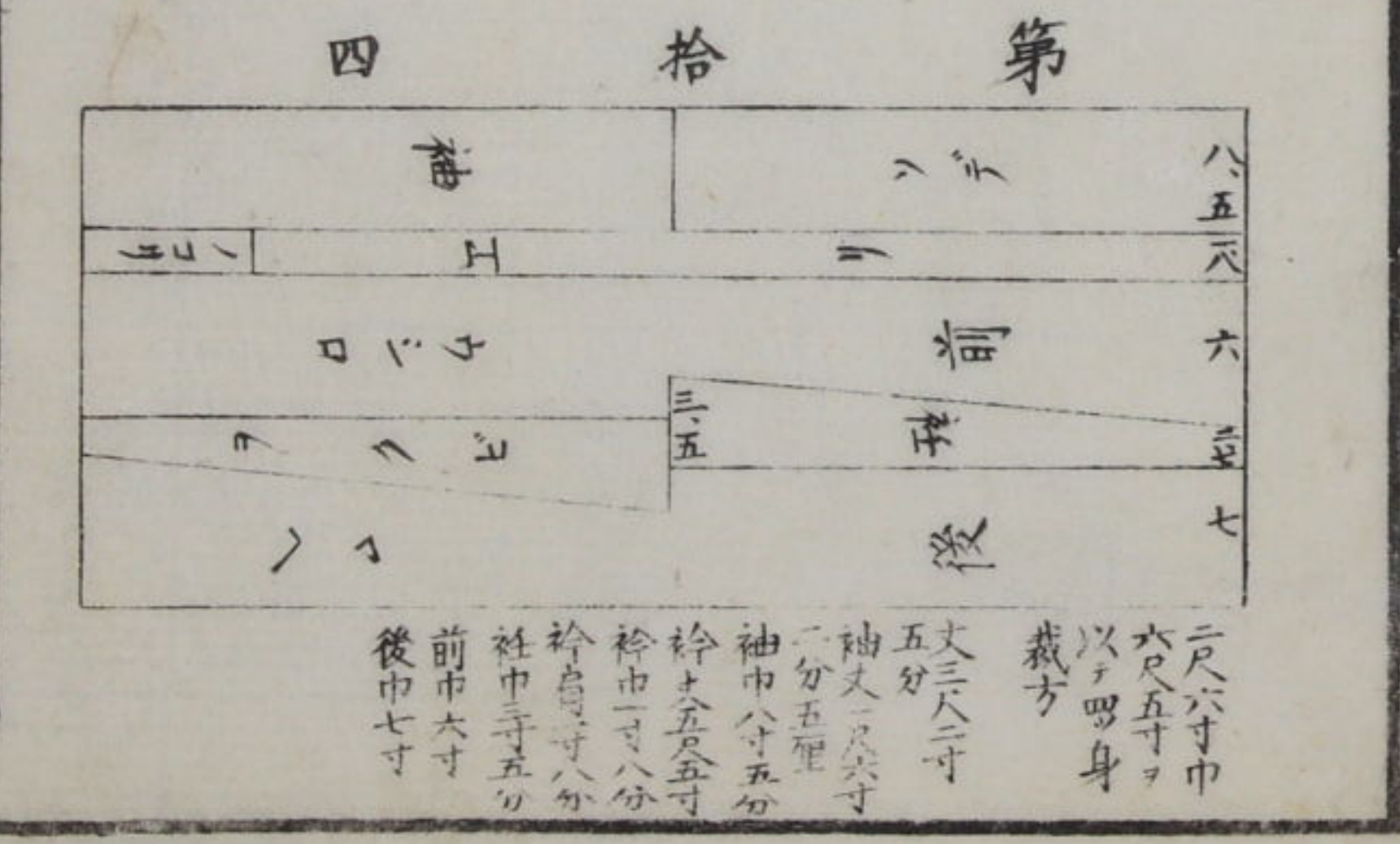
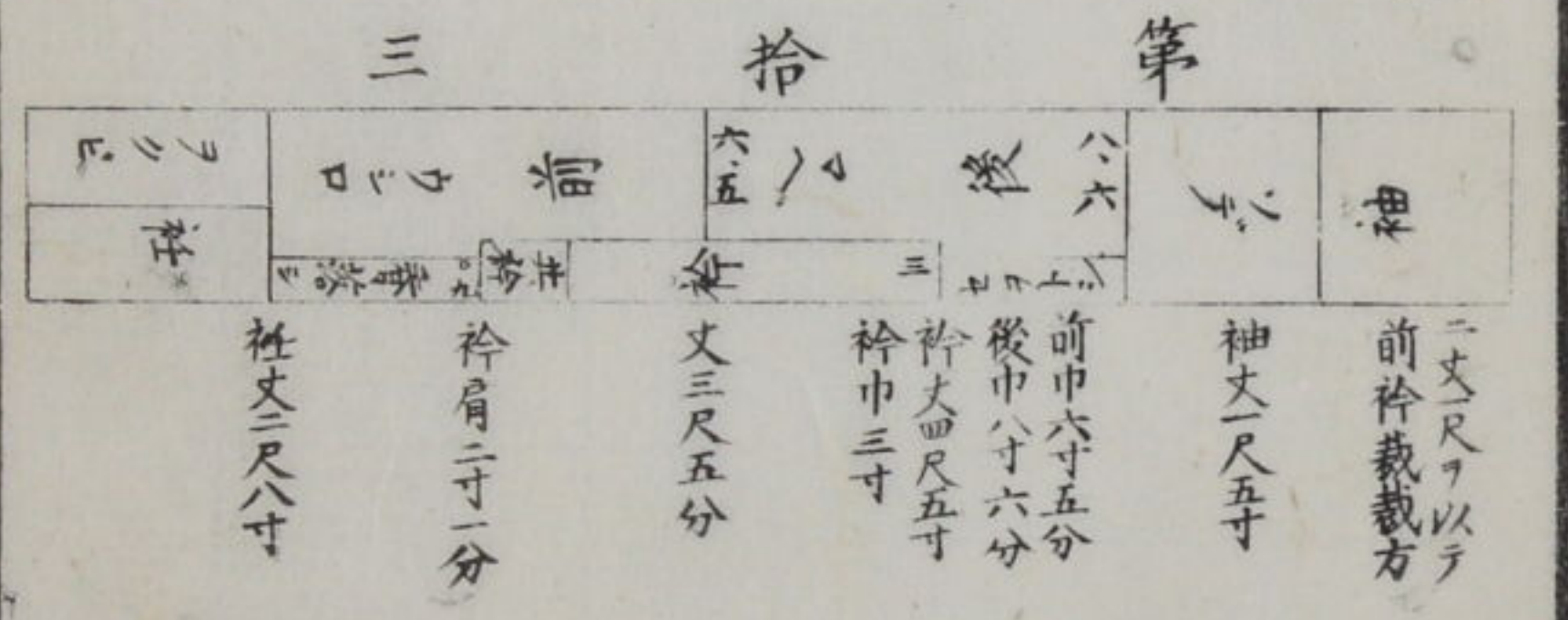
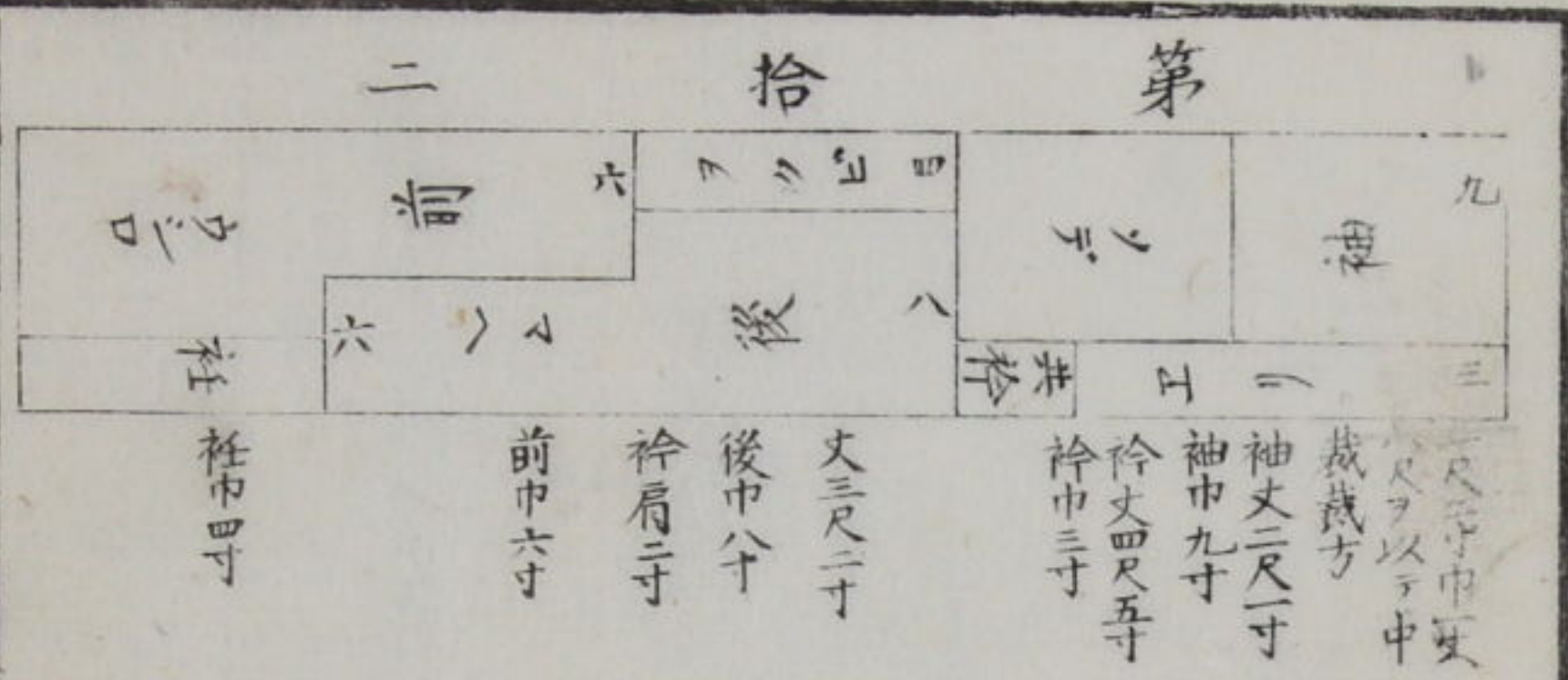


二尺三寸巾一丈三尺ヲ以テ三身裁方 袖丈一尺八寸 袖丈五尺二寸 袖巾二寸 袖肩一寸七分 丈三尺 袖肩一寸七分

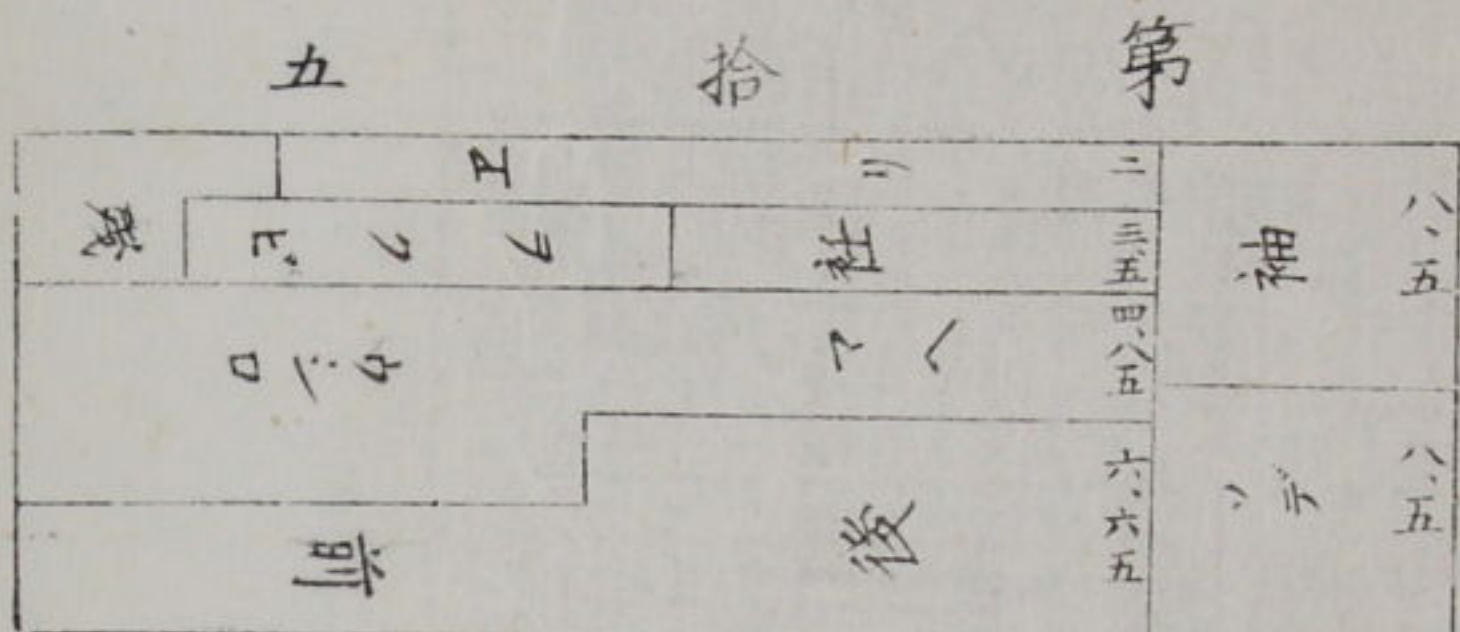


常中二丈ヲ以テ四身裁方 袖丈一尺七寸五分 袖肩一寸八分 丈三尺一寸五分 袖丈五尺四寸 袖巾二寸 袖肩一寸八分

巨首通成逢女受書  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三



普  
三  
五  
七  
九  
十一  
十三  
十五  
十七  
十九  
二十一  
二十三  
二十五  
二十七  
二十九  
三十一  
三十三  
三十五  
三十七  
三十九  
四十一  
四十三  
四十五  
四十七  
四十九  
五十一  
五十三  
五十五  
五十七  
五十九  
六十一  
六十三  
六十五  
六十七  
六十九  
七十一  
七十三  
七十五  
七十七  
七十九  
八十一  
八十三  
八十五  
八十七  
八十九  
九十一  
九十三  
九十五  
九十七  
九十九  
一百



一尺七寸中一丈五  
以テ四身裁方  
袖丈一尺七寸  
丈三尺三寸  
前中四寸八分五厘  
後中六寸六分五厘  
社丈三尺一寸  
衿中三寸五分  
衿丈五尺六寸  
衿中二寸  
衿肩一寸五分

○問答の部

三ツ身裁トハ何故申斯ク名付けしヤ

身頃布<sup>ミゴロ</sup>を三ツ折<sup>ミゴロ</sup>おして裁截するの故を以てあり

然らバ布幾尺位を要するヤ

一丈二尺より一丈五尺お至る有り

常巾一丈四尺を以て三ツ身を裁つ時丈<sup>ミ</sup>美<sup>ミ</sup>袖丈寸

法を如何ん

(壹) 丈二尺八寸袖丈一尺四寸お裁切るあり

然らバ三ツ身裁此衿肩及衿巾<sup>シクヒセカリ</sup>、袖巾<sup>ソデマチ</sup>、袖口<sup>アキ</sup>明袖附身

のハツ口身巾<sup>ツマシ</sup>、裙下<sup>ツマシ</sup>等の寸法を如何ん

衿肩一寸七分衿巾一寸七分衿巾三寸余小裁切り衿  
下三寸袖巾六寸五分七寸袖口明五寸袖附五寸身  
のハツ口二寸五分前後共身巾以しわい裾下七寸此  
出来上りあり

片<sup>カク</sup>面<sup>シ</sup>染<sup>ソ</sup>の布常巾一丈三尺を以て追送裁<sup>オヒツクリタチ</sup>三ツ身を製以  
る時其裁方寸尺も如何も為をべをや

(二) 丈二尺六寸六分強袖丈一尺二寸五分小裁切るべし  
但し衿ハ一と脊より取り一と前より取るなり

布丈一丈二尺を以て為る時七三ツ身此裁方如何ん  
(三) 丈二尺四寸袖丈一尺二寸小裁切り衿衿の取方ハ衿

ハ袖の端より落し衿を脊より落をなり

片面物一尺二寸巾長<sup>サ</sup>一丈五尺を以て追送三ツ身裁寸  
法を陳へよ

(四) 丈三尺袖丈一尺五寸小裁切り袖巾九寸衿巾三寸衿  
丈五尺二寸衿丈二尺八寸衿肩一寸八分小裁つあり

二尺五寸巾長<sup>サ</sup>六尺有り今之邊を以て三ツ身を製せん  
と欲以其寸法如何もして可あるや

(五) 丈三尺袖丈一尺五寸裁切り袖巾七寸五分前巾五寸  
後巾六寸五分衿巾二寸五分衿丈五尺二寸衿巾二寸

五分小裁切るあり



一尺三寸巾一丈三尺二寸を以て三ッ身を裁たんとす  
然る時も又及袖丈寸法并小其裁方如何ん

(六) 袖丈一尺八寸丈三尺小裁卸をなり其裁方を袖の端  
より衿衽を取り身頃を一中の儘にて春を空縫ソウ小為  
を積りあり

四ッ身裁とい如何ある縁由有りて此稱有るう  
身頃布を四ッ折となし其端より衿衽を取ら小由り  
爾ら稱ふるあり

四ッ身と布丈幾尺を要せるや  
常中一丈七尺より二丈小至る有り

四ッ身を裁縫せら小常中二丈を以て之を其寸法如  
何ん

(七) 袖丈一尺七寸五分丈三尺二寸五分衿中二寸衿肩一  
寸八分小裁切り衽を前身頃を空縫ソウ小為きあり  
然らむ其縫方寸法を

袖附五寸五分袖口明五寸五分袖巾七寸五分々八寸  
の出来身のハッロ二寸五分身巾いりむ以衽下三寸  
五分裾下八寸々一尺小至るを並と以

一丈九尺を以て四ッ身の裁方如何ん

(八) 袖丈一尺六寸丈三尺一寸五分裁切り衿ハ脊の端より

り落し衽を前身頃の端より空縫とみはかり

一丈八尺を以て為せば如何ある寸法にて可あるや

(九) 又二尺五分袖丈一尺四寸五分小裁切りて可あり

一丈七尺を以て四ツ身逆衽裁サカマキを為す時ハ其寸法及裁

方如何ん

(拾) 丈二尺八寸五分袖丈一尺四寸小裁切るあり但し衽

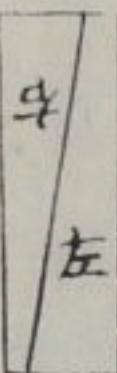
を前身頃の端より斜に裁卸し衽ハ脊より取るあり

一尺三寸巾一丈三尺を以て四ツ身を製せしむ其裁方

如何ん

(拾) 丈二尺九寸袖丈一尺八寸裁切り袖の端より衽衽を

取り衽をヤナギ裁



と為はかり

一尺二寸巾一丈八尺みち中裁を裁截するハ其寸法

如何ハ為すべき

(拾) 丈三尺二寸袖丈二尺一寸小裁切り身頃を三ツ身の

様小裁ち脊落を以て衽と為し袖の端より衽を取る

なり

常巾二丈一尺を以て前衽裁を製する寸法を如何に

て可あるや

(拾) 袖丈一尺五寸丈三尺五分小裁ち前身頃より三寸巾

小衽を取りて可あり尤も後巾を八寸六分小裁ち脊

落有り

二尺六寸巾六尺五寸の切地有り之を以て四ツ身を裁つゝ其裁方寸法如何ん

(拾) 丈三尺二寸五分前巾六寸後巾七寸袖丈一尺六寸二分五厘袖巾八寸五分衿丈五尺五寸衿巾一寸八分衿中と本と三寸五分末を二寸七分に裁ち其裁合せ方と先つ巾の端より袖先を裁卸し衿の前後身頃此中間より之を取らるゝ

一尺七寸巾の布にて四ツ身を裁つゝ袖丈一尺七寸丈三尺三寸と為さば布丈幾尺を要し其裁方ハ如何なり

(拾) 丈一丈を要し其裁方ハ巾巾三三尺四寸裁切り又之を半巾に割り兩袖と為し残の端より衿衽を取り其刺を裁違へ兩身頃と為せ

三ツ身、四ツ身及前衿裁の單、衿、綿入、縫方  
次の問答に準據し縫方を教授をべし  
問答の中を参考をべし  
縫方寸法ハ前記を裁方寸法

○問答の部

三ツ身の單衣縫方ハ第一に何を為せや

第一に袖附の方を右と袖下より縫ひ口明を止め又衿付け引返して袖巾を度りハツ口を衿付け次ハ衽

を取り裾下を紵付るあり

第二も如何ん

衿肩を右とるゝ脊を袋縫フタヌミふゝ折を己の方へ返ゝ後  
巾又肩巾を當り折を付け脇縫ワキヌミを為ゝ折を前身頃の  
方へ返ゝ袖を付け折ハ袖の方へ返ゝ身のハツ口を  
紵付るなり

第三も如何んを為はや

前巾を度り衽を付け伏縫フセヌミふゝ又衿を付け然ゝて裾  
を紵付るあり

三ッ身衿の縫方ハ如何ん

最初ハ袖口を掛け口先を裏表を共ハ縫ハ袖口を止  
め夫より下へ縫ハ袖巾を度りハツ口を縫ハ袖下を  
縫ハ引返ゝて躰糸を掛るあり

夫より何を為はや

表の脊を縫ハ巾を度り脇を縫ハ又裏の脊脇を縫ハ  
裾を合せ衽の位を見て横綴を為ゝ裏表の間ハて縫  
目を綴付るあり

其次ハ

前身頃を裏表共ハ綴ぢ巾を度り裾を縫ハ左右の衽  
を四ッ縫ハ巾を當り裾下を縫ハ引返ハ

然後ハ如何ふることを為さる

左右の釵先の裏表を共ニ綴ち衿を付け單衣の如く  
為さる

三ツ身綿入縫方と如何ハ為さべきや

第一ハ表袖を縫ひ繫糸を掛け又裏袖ハ袖口を掛け  
袖下を縫ひ巾を度る

第二ハ如何を為さる

表の脊を縫ひ又脇を縫ひ袖を付るなり

第三ハ如何ん

前巾と度り衿を付け又衿を付るなり

夫より何と為さべきや

第四ハ裏を縫ひ裾口を合せ裾と綴ち四裾ハ繫糸を

掛け綿を入るゝを一ツ身と同一事なり

四ツ身并ハ前衿裁ち其縫方三ツ身ハ異なり

單衿綿入とも其縫方一樣なり

○第五期

第五圖ハ據り男女大人衣服種々裁方

衣服と裁截とるハ先ツ布の丈尺を取り裏表の糸抜

深斑等ハ注意一織本ハ袖を裁ち表の方を中ハ二

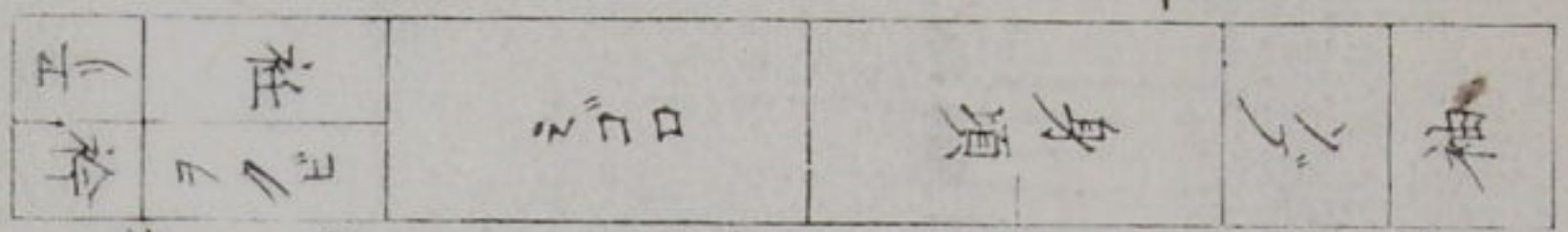
枚合せニツハ折リ篋と持ち袖丈の寸法の處へ尺を當

て四枚共小籠こかごおて標しるしを付け己の前を袖附とあり己の  
 向を袖口と為さべし次小身頃と裁ち前の如く表を中  
 とあり四ツ折より丈を當り袖附を記し己の前側を脊  
 とあり衿肩を切り下しもありし二枚を前の身頃として  
 衿肩より五寸下りて衿下しんかの標を付け若し寸法より長  
 けせば内揚うちあがりと為さあり内揚も袖附より一寸下るべし  
 前を又一寸下るべし故小揚の標を為さ時を衿肩を後うしろ  
 の方へ五分去て袖附より一寸下りし處小四枚共小標  
 を付け二寸長けせば又一寸下りし處小標を付け之を  
 揚あがりの山標とを而して殘切のこぎりを衿衿とあり中程より衿の

方を二三分廣く堅割かたおし廣き方おて衿を裁ち若し棒  
 をこ能よえざせば之を鈎裁かぎと為さべし假令たとへ身みの丈  
 四尺の物を裁きば衿の丈として三尺七八寸の處へ鉄てつを  
 入いれ殘のこり下したとあり鈎かぎお裁ち然後しかた衿二枚を揃そろへ裾下  
 を己の方へ向け衿中を四寸お相あ裾を三寸五分お當り  
 標を付け衿丈は三尺五寸の處へ標を付けべし但し裾  
 下を真直まじおし衿附しんおて上うおある程布巾少く縫込ぬいむ  
 ものと心得こころ標しるし衿を脊より裾下迄の長ながを量り山標を付  
 けニツ折より丈の標を付けべし但し衿下を男五寸女  
 六寸あり  
 裏地を裁つぬ襖たもとの位を量り表身頃の丈より尚長き  
 時ハ衿肩の處へ揚あがりと為さし心得こころべし

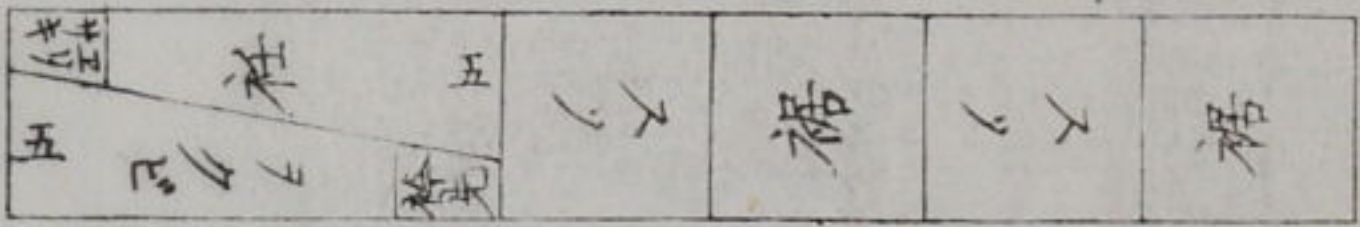


第九



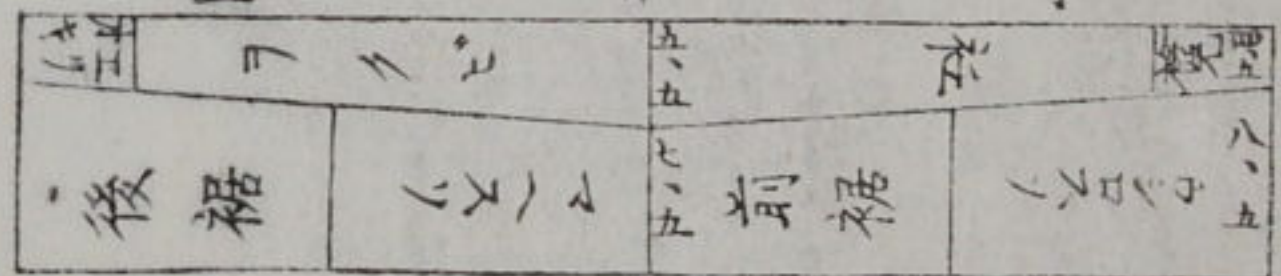
二丈六尺寸  
片面物裏  
地裁方  
袖丈四寸五分  
分  
袷肩二寸三分  
丈三尺寸三分  
五厘  
袷丈三尺寸  
袷丈二尺四寸  
但山縫

第十



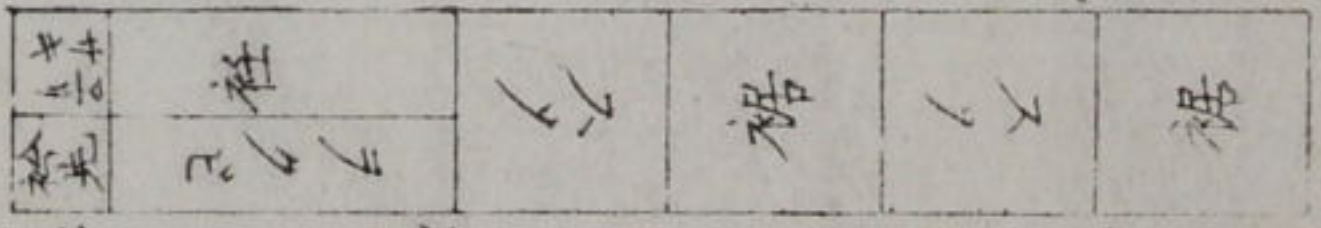
九寸巾八分以テハッ掛裾廻裁方  
裾長一尺二寸  
袷先四寸  
袷丈二尺四寸

第十一



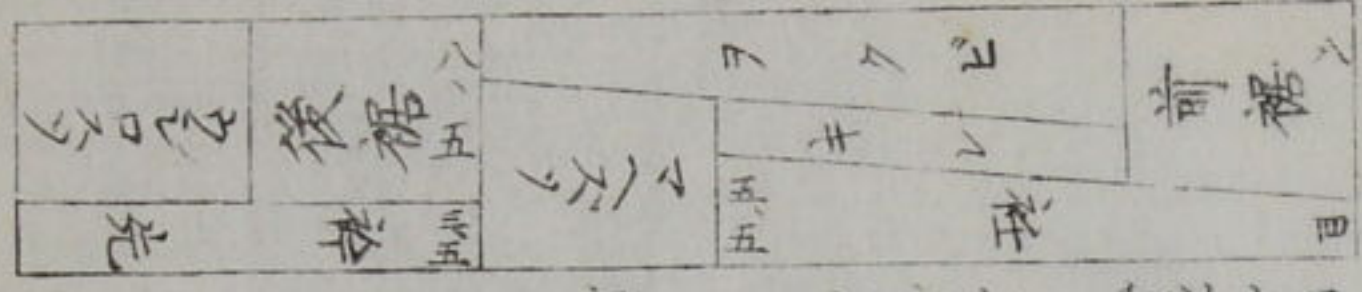
一尺寸巾  
五尺寸ヲ以テハッ掛  
裾廻裁方  
裾長一尺四寸五分  
袷丈三尺寸  
袷先四寸

第十二



九寸五分巾長六尺九寸ヲ以テ裾廻裁方  
裾長一尺  
袷丈二尺寸  
袷先四寸

第十



一尺二寸巾  
六尺五寸ヲ以テハッ掛ナギリ裁方  
袷丈三尺六寸  
袷巾寸五分  
袷巾四寸  
裾長一尺寸

第十一



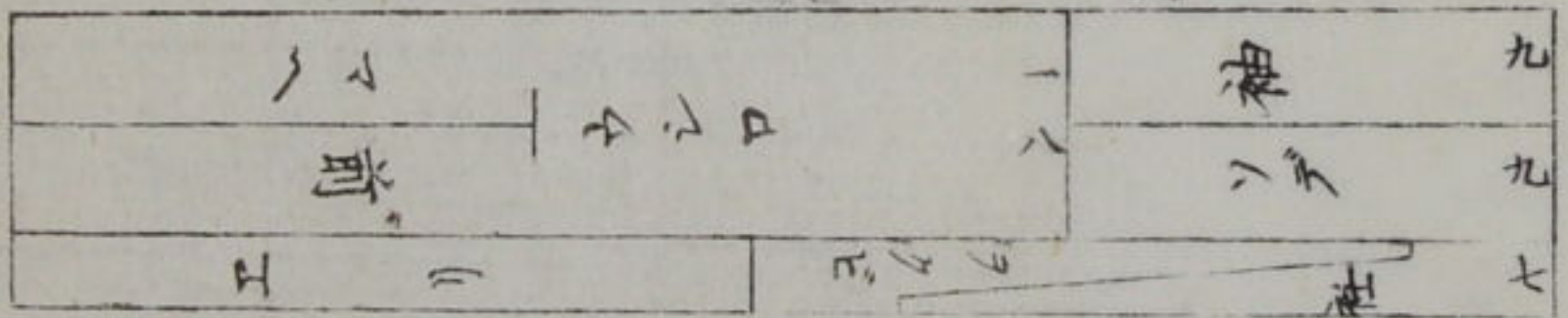
表社之裁合方

第十二



裏社之裁合方

第十六



二尺寸巾長廿一丈一尺ヲ以テ裏地裁方  
袖丈一尺五寸  
袷丈三尺八寸  
裾下二尺二寸  
袷巾七寸  
丈四尺  
袷丈五尺



○問答の部

二丈八尺六寸ふて男服を裁さんとい其寸尺を答へよ

(壹)丈三尺九寸五分袖丈一尺四寸五分子ラビギ衿衿地七尺ふ裁

切り衿ハ棒裁あり

二丈七尺五寸を以て棒衿裁ホムヲラビダナふを並バ丈并ふ袖丈幾寸

ふ裁つ履きり

(二)丈三尺八寸袖丈一尺四寸ふ裁切り其餘ハ衿衿ホムふ充

てるなり

二丈八尺を以て女服を裁截せんとい其裁方如何ん

(三)丈四尺袖丈一尺六寸ふ裁ち衿衿地五尺六寸と云但

一衿カサカサを鈎裁あり

二丈八尺の切地有り之を以て男服を裁つふを其寸法

如何ゆや

(四)丈三尺八寸袖丈一尺五寸裁切り其割ハカリ六尺八寸を以

て衿衿とい尤も衿ハ棒裁とある

二丈七尺ふて男服を製其裁方如何ふして可なりや

(五)丈三尺七寸五分袖丈一尺三寸五分衿衿地六尺六寸

ふ裁放は但一衿ハ棒裁あり

二丈七尺五寸を以て女服を裁さんとい其寸法を陳べ

よ

(六) 丈四尺袖丈一尺五寸衿衽地五尺五寸あり尤も衽を  
鈎裁あり

二丈七尺を以て女物裏地の裁方寸法を問ふ  
(七) 丈三尺九寸袖丈一尺四寸五分衽ハ鈎ふて衿衽地五  
尺六寸あり

二丈六尺六寸おと女服裁方ハ如何ん  
(八) 丈三尺八寸袖丈一尺五寸衿衽地五尺四寸あり但し  
鈎衽あり

片面染二丈六尺八寸の裏地有り今こを以て裁截せ  
んハ適當ある寸法と答ふ

(九) 丈三尺八寸二分五厘袖丈一尺四寸五分衿衽地五尺  
七寸ハ裁切りて適當あるべし但し衿ハ山繼あり

九寸巾八尺を以てハツ掛裾廻裁方ハ如何ん  
(拾) 裾の高<sup>ナ</sup>一尺三寸<sup>タテ</sup> 堅裾即ち裏衽二尺四寸衿先四寸と  
之但し衽の先より衿先を取るあり

一尺三寸巾五尺八寸を以て裾廻裁方ハ如何ん可あり但  
あるや  
(拾) 裾の高<sup>ナ</sup>一尺四寸五分<sup>タテ</sup> 堅裾二尺五寸ハ可あり但  
し衽先より衿先四寸を裁取るあり

巾九寸五分長<sup>ナ</sup>六尺五寸ハ裾廻を裁つハ其寸法如

何ありや

(拾) 裾の高<sup>一</sup>尺 堅裾二尺一寸 衿先四寸あり

一尺二寸 巾長<sup>六</sup>尺五寸を以て裾廻子ギリ裁<sup>ハ</sup>為<sup>セ</sup>を其割合如何ん

(拾) 裾の高<sup>一</sup>尺三寸 堅裾二尺六寸あり 但し後裾の端を卸し之を以て衿先<sup>ハ</sup>充<sup>テ</sup>るあり

表衿と裏衿とを鈎裁<sup>ハ</sup>為<sup>ス</sup>法有りや

(拾) 曰く有り其法ハ表衿を裁つ時ハ布の表を出して之を下<sup>ハ</sup>措<sup>キ</sup>己の前側の右の方を裾下と<sup>ミ</sup>て向側の右の方より左衿の丈を取り裏衿<sup>ハ</sup>さ<sup>バ</sup>同<sup>ト</sup>く表

を出して下<sup>ハ</sup>措<sup>キ</sup>己の前側の左の方を裾下と<sup>ミ</sup>て向側の左の方より左衿の丈を取<sup>ル</sup>ありあり

二尺五寸 巾長<sup>一</sup>丈一尺<sup>ハ</sup>て裏地を裁つ時其裁方寸法如何<sup>ハ</sup>為<sup>ス</sup>べき

(癸) 其寸法<sup>ハ</sup>丈四尺 袖丈一尺五寸 衿丈三尺八寸 裾下二尺二寸 衿丈五尺<sup>ハ</sup>て可<sup>キ</sup>あり又裁合方<sup>ハ</sup>先<sup>ニ</sup>づ總巾の端を七寸巾<sup>ハ</sup>裁<sup>キ</sup>卸<sup>シ</sup>此中五尺を衿と<sup>ミ</sup>六尺を鈎裁<sup>ハ</sup>兩衿と<sup>シ</sup>尚<sup>ホ</sup>残り有<sup>ル</sup>處の一尺八寸巾一丈一尺の中長<sup>三</sup>尺裁<sup>キ</sup>放<sup>シ</sup>之を中央より裁<sup>キ</sup>兩袖と<sup>シ</sup>為<sup>ス</sup>刺<sup>ス</sup>餘を以て身頃<sup>ハ</sup>充<sup>テ</sup>るあり

丈三尺八寸出来の綿入を丈何尺も裁切る履きや  
衿肩と裾との縫代を五分と一三尺八寸五分も裁切  
るべし

然るを丈三尺六寸五分出来の單衣を丈幾尺も裁截を  
履きや

單衣を衿肩と裾との縫代を八分と一三尺七寸三分  
裁切も為しべし

綿布大人衣服縫方

綿入を縫ふも先づ表袖を縫ひ繫糸を掛け袖巾を度  
り次も裏袖も袖口を掛け袖下を縫ひ巾を袖口の所を

表より六七分廣く標を付け次も表の脊を縫ひ縫目と已  
の方へ返し後巾及肩巾を度り次も脇を縫ひ袖を付け次  
も前巾を度り抱の巾を度り社と裾より付け次も脊より  
左右へ衿を付下せかり其次も裏の脊を縫ひ已の向へ縫  
目を返し次も脇を縫ひ脇縫を前身頃の方へ返し袖を付  
け其縫目ハ身頃の方へ返を次も社を付け又衿を付け  
次も裏表の縫目を毫も違えぬ様も裾を合をを但し裾  
を縫ふも裏を己の方も持ち表を己の向も為しべし  
男並の着物寸法ハ即ち丈三尺六寸五分袖丈一尺四寸袖  
口明八寸行一尺七寸五分衿肩二寸一分衿巾一寸六分裾

下一尺七寸五分身巾六寸五分ハ八寸抱六寸一分ヲ社下五寸ヲ社巾四寸相裾ノ巾三寸五分ハ二分の縫揚グりあり女並の着物寸法も即ち丈四尺内外袖丈一尺四五寸袖口明六寸五分袖附七寸五分身のハッロ三寸行一尺六寸五分衿肩二寸三分衿巾三寸位裾下一尺八九寸身巾六寸ハ七寸五分抱五寸五分社下六寸社巾四寸相裾ノ巾三寸五分ハ三四分の出来ナリ衿の縫方ハ三ツ身四ツ身【第四期】と大同小異ハせむ之を酌量して教授をへし爰も省略以

○問答の部

行

前ノ記載せる處の教方と量りて隨意之を為以べし

衿ハ丈身巾ノの法 教授の法も省略を次り問答を参考し之を教示をへし

○問答の部

一尺六寸五分の行ある時を其袖巾を幾許なりや

八寸五分あり

其肩巾を幾寸あるら

八寸あり

然るを行一尺六寸五分ハ袖巾八寸七分ハある時を肩巾を如何ん

七寸八分小て可あり

一尺七寸の行をきき其袖巾幾何小して適當なるや  
八寸七分を以て程度とせ

肩巾を

八寸三分小て可あり

行一尺七寸袖巾八寸五分をきき其肩巾を如何小して  
可なるを之を答へよ

肩巾八寸五分小て適當せり

行一尺七寸五分の時を其袖巾及肩巾を如何ん  
袖巾九寸肩巾八寸五分あり

一尺七寸五分の行小て袖巾八寸八分をきき其肩巾幾  
寸小をききや

八寸七分小をきべし

行を一尺八寸小を以時を袖巾并に肩巾の適度を幾寸  
あるや

袖巾并に肩巾とも各九寸小て可あり

前七寸後八寸の身巾小て其抱を幾寸小をききや

六寸二三分小て可し

八寸小六寸五分をきき其抱何程なるや

六寸一分あり

六寸二分ハ適應せり

六寸五分ハ七寸五分あるを其抱如何ん

五寸七八分ハ可あり

六寸ハ七寸五分又ハ六寸ハ七寸ハ身中あるハ其抱の

寸法ハ如何ん

身中六寸ハ七寸五分をきハ五寸五分ハ六寸ハ七寸ハ

れハ五寸二分あり

丈三尺八寸出来ハ裙下一尺八寸ある時ハ其衿丈幾

尺あるや衿肩を九寸二分出来あり且衿丈ハ實地

程ハ此積ト可あり以下の問答も總て之ハ準とべし

左右ハ二尺三寸づ、即ち四尺六寸あり

裙下一尺八寸ハ丈三尺七寸五分の出来あるを其衿丈

幾何あるや

四尺五寸あり但し左右ハ二尺二寸五分宛あり

丈三尺八寸出来裙下一尺七寸五分ハ為きハ衿丈如何

ん

二尺三寸五分即ち左右ハ四尺七寸あり

三尺七寸五分の丈ハ裙下一尺七寸五分ハ衿

丈何程ありや

三十一

二尺三寸宛即ち左右めて四尺六寸

裙下一尺七寸五分丈三尺七寸の出来を其衿丈幾

何あるや

左右めて四尺五寸なり

丈三尺七寸五分裙下一尺七寸を其衿丈幾如何ん

其衿丈二尺三寸五分左右めて四尺七寸

然らば同丈おて裙下一尺八寸を其衿丈幾尺り

左右二尺二寸五分グをなり

三尺六寸五分の丈おと一尺七寸五分の裙下を其

衿丈何程あるや

二尺二寸あり左右めて四尺四寸の出来

今甲の丈三尺六寸裙下一尺七寸あり乙の丈三尺五寸

裙下一尺七寸あり各衿丈幾尺宛めて可ありや

甲を二尺一寸八分乙を二尺八分宛めて可あり

丈三尺四寸五分裙下一尺六寸五分を其衿丈を如

何お為すべき

左右二尺八分宛總丈四尺一寸六分の出来あり

女服丈四尺出来裙下二尺を其衿丈何程にして適

當あるや 衿肩ハ二寸三分の出  
来以下之に準をべし

二尺三寸宛合せて四尺六寸の出来あり



丈四尺裾下一尺八寸五分出来ハ為シバ如何ん  
 其衿丈二尺四寸五分左右ハて四尺九寸の出来ハり  
 裾下を一尺九寸五分とシ丈を三尺九寸とシをシを其衿  
 丈幾尺ハして可ハりや

二尺二寸六分ハり即ち左右合せて四尺五寸二分ハり

頭巾ツキ各種の裁縫

爰ハ教授方を略せテ是モ亦次の問答ハ據り適宜授く  
 願ハし

○問答此部

大黒頭巾オウゴンを如何ニして製シはるや

常巾四角を圓く裁ちヒカ稜數七ツ折り裏表共ハハ躰糸  
 を掛け縁リと付るハり但し縁ハ巾五分より七分迄任  
 意ニたるハ願ハし

嬰兒コナガの頭カシラを其周圍マダリ九幾寸位ハるハり

一尺を並トとシ然レどモ聊ウ大小タガヒ比差異ハあり



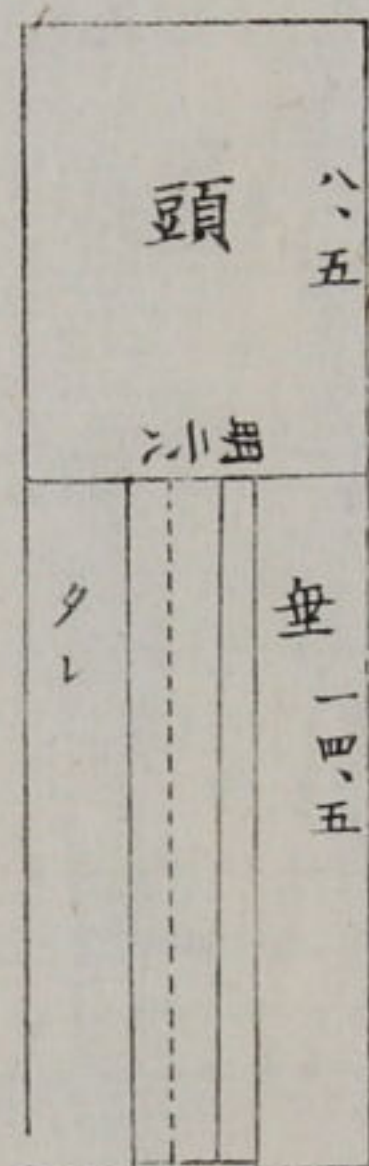
六七年位ある童子コドモの宗十郎頭巾を製シはるハりハ中巾縮チヂミ

緬ミン巾キン幾尺を要するや

匹尺八寸を要し但し頭の裏地を別切一尺八寸入用なり

然らば頭の太フトサ并ナ其仕立方寸法を如何ん

頭の太サ凡ナ一尺三四寸タビ此長サ一尺五寸頭の長サ九寸を



後ノ垂ハ袴ノ後ノ襟ニ巾九六七分程切ヲ交ヘ縫フベシ

大人の宗十郎頭巾ハ一尺七寸巾丈幾尺を以て裁製為

るや

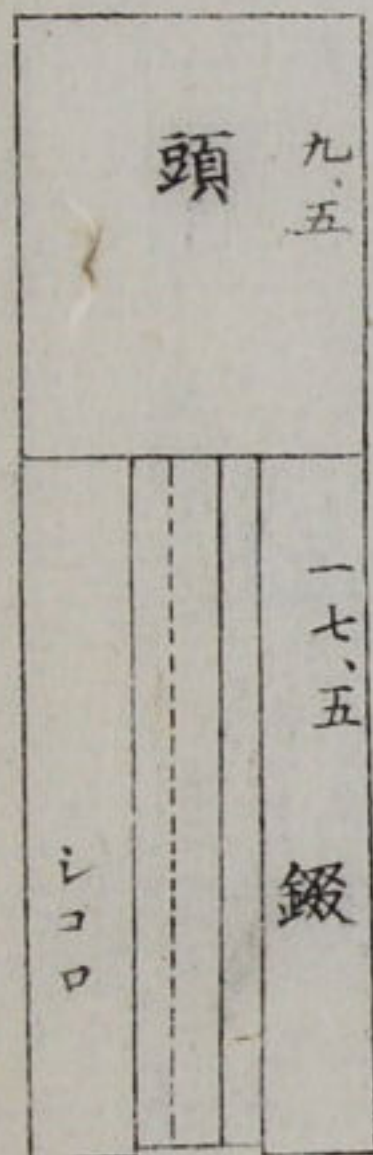
四尺六寸を以て裁製為るなり

大人の頭を凡幾寸廻マるなり

其圓サ凡ナ一尺五六寸なり

然らば裁縫の仕方を如何ん

四尺六寸の内レコロ綴シ一尺八寸宛取り残を頭の切キレとすなり  
も裏を常巾ナして別ナ二尺を要し



早道頭巾を一尺七寸巾何尺小て裁縫をべきや

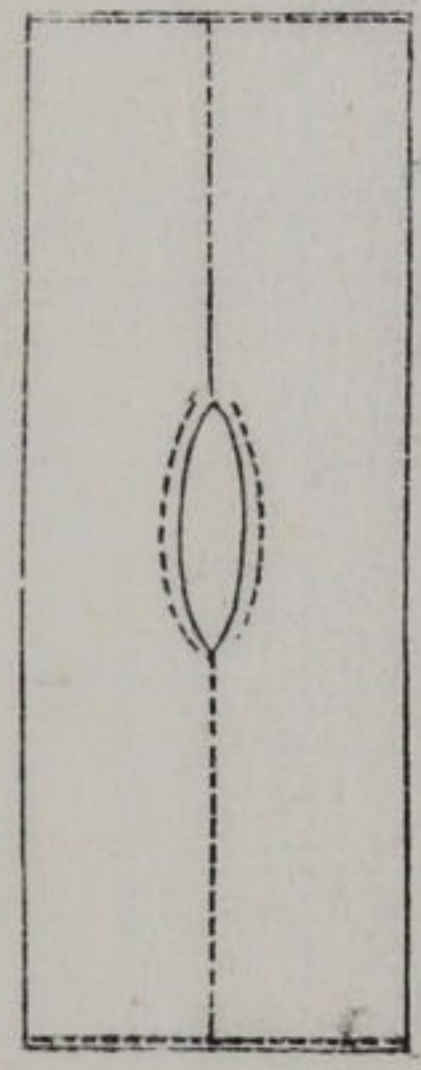
四尺を以て裁縫をべき

然らむ其縫方を如何小をべきや

巾を二の折となり真中をマナカ一尺五寸明けて左右を縫

ひ圖の如く布巾の中間へ其縫目を置き兩端を縫ふ

べし

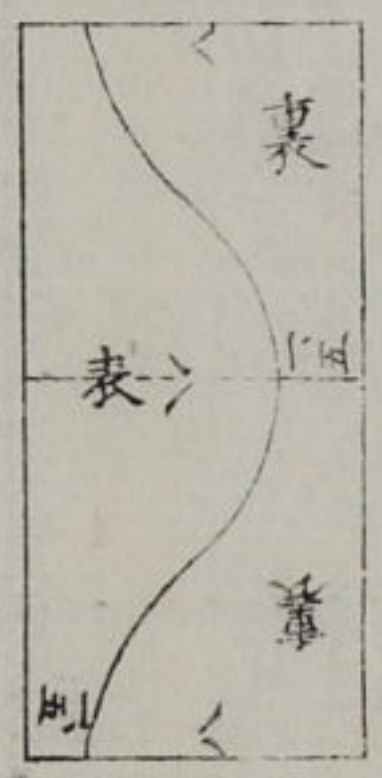


船底頭巾を布丈幾許を要するや

一尺九寸巾四尺常巾を色を八尺なり

船底頭巾

裁合之圖



布二枚ヲ重テ裁ハズ  
但裏ハ中継トナル

其仕立方ハ如何ん

裏と表を四枚合せ其中程を五寸許一枚と別小して

縫ひ少し綿を糸引返して紵るなり

吉原頭巾を幾尺を以て製するや

常巾五尺を以て製す



其裁方寸法及縫方を如何ん

丈一尺餘小裁ち巾下を以つて上の中七寸中袂落  
一襠の長五寸を三角小鈎裁し然して後の上を圓く  
一前丈を上小く六七分縫込むあり

普通裁縫教授書 下巻終

渡邊辰五郎編 通裁縫算術書

全一冊

定價金廿五錢

明治十三年五月五日版權免許  
同 年十一月廿九日出版

子業孫子業氏

著者  
出版人

渡邊辰五郎

千葉孫子業部  
本町百三十二番地

東京府千代田区

出版  
者氏

石川浩太郎

東京府千代田区  
本町百三十二番地

